

全国学校ギター合奏コンクール2024 審査講評

Web-2番 団体名： 柏木学園高等学校 軽音楽部<指揮：山口智弘>

自由曲 曲名：情熱大陸／葉加瀬太郎（寺田和之編）

審査員名	自由曲
新堀	<p>18人でGr.×2で編成は良いがGr. が2人ともはじきが数センチで音が来ない。40～50cmははじかねば。</p> <p>NRMも用いているが○。コントロールが平たん。</p> <p>タテリズムない。</p> <p>指揮はタテリズムあり。良い楽譜。</p>
堀	<p>曲の構造をきちんと掴み、音世界に合ったメンタルで演奏を楽しんでいることが伝わってきます。昨年拝見した時よりも譜面をきちんと読み(こういう曲調ではありますが)クラシックフォーマットのアンサンブルでの様式美を踏まえた演奏になっている点に感銘を受けました。</p> <p>だからこそ1点、62小節以降のセクション、prim1が16beatで刻んでグループを出すという編曲者の意図を守って頂きたかったです。打楽器的奏法で四分打ちをすれば確かにまとまりやすいですが、曲全体のメリハリを考えて敢えてこうした編曲者に敬意を払い、困難でもこの形で練習を重ねることに大きな意味があるはずです。</p> <p>前奏:パッセージごとの頭の“1”をもっと共有すると自由にうたいまわす部分ももっと生きてきます。</p> <p>全体:各セクションへの“つなぎの部分”にもっと推進力を持たせるといいと思います。</p> <p>外声が互いにもっと聴き合って曲のグループを生み出しましょう。</p> <p>パーカッシブな部分と、弦鳴主体の部分のレベル差(音量差)が大きすぎるのでは？と感じてしまいました。また弦鳴主体の部分も音数がリズムセクションの方がメロディーより圧倒的に多いのでメロディーが浮き出る工夫が必要です。</p> <p>アンサンブルの時はストロークのポジションを各パート内で共有するスタイルをおすすめします。</p>
柴田	<p>マナー6アナリーゼ6技術5音色6指揮5</p> <p>序奏に指揮者が介入しないのは妙である。</p> <p>ラスゲアードのカッティングはきれいに出ているが、パーカッションがいただけない。正確にたたけていないだけでなく、曲中での音量のバランスが無視されている。</p> <p>場所によってはメロディーが少しへこみ気味になっており、指揮の動きも見づらい。</p> <p>中・低音は音量ではなく、厚みのある音が欲しい。</p>
中島	<p>音色○指揮△</p> <p>難しいが魅力的なダイナミックな曲を、よく弾きこなしている。後半に行くに従い尻上がりにノリノリになってとても楽しく聞かせてくださいました。</p> <p>指揮が演奏者の後追いになってしまっているのが残念。</p> <p>きっかけの合図がなくても皆さん弾けてしまうのは、よく練習を積んでいるからでしょう。</p> <p>また聞かせてください。応援しています。</p> <p>楽しい曲をありがとうございます。</p>

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール2024 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早1-16-14

Tel.03-3530-5341